

2009.7.4



没後250年－ヘンデル特集



プログラム

今年はいド、メンデルスゾーンと並んでバロック時代の作曲家ヘンデルの没後250年にあたります。同じ年に同じドイツに生まれた「音楽の父」と呼ばれるバッハに対して、ヘンデルは「音楽の母」とも呼ばれます。しかし生涯をドイツから 離れたバッハに対し、74年の生涯で47年間をイギリスで過ごし、1727年には帰化したことから、英語名でジョージ・フレデリック・ハンデルと呼ばれることもあり、イギリスでは母国の作曲家とされているほどです。オペラやオラトリオを中心にあらゆる分野の作品を残しましたが、今日は代表的な名曲と魅力的な優れた作品を集めてお聴きいただきます。バッハの作品に比べ、ヘンデルの作品はそれ程頻繁に取り上げられ、親しまれているとは言えません。これを機にヘンデルの魅力に触れていただけたらと思います。

ゲオルク・フリードリッヒ・ヘンデル (1685～1759):

オルガン協奏曲第1番ト短調 ～抜粋

ライオネル・ロツグ (オルガン)

ギンター・ヴァント指揮NHK交響楽団

(1979.3.9 NHKホールでのLive)

ヴァイオリン・ソナタ第4番ニ長調～全曲

キヨン・ファ・チヨン (ヴァイオリン) / フィリップ・モル (ピアノ)

(1989.11.5 サントリーホールでのLive)

オラトリオ “メサイア(救世主)”

第1部～序曲、二重唱(主の栄光) / 第2部～ハレルヤ・コーラス / 第3部～終曲アーメン・コーラス

フェリシテイ・パーマー (ソプラノ) / ビルギット・フィニレ (アルト) /

ロバート・ティアー (テノール) / ブライアン・レーナー・クック (バリトン)

カール・リヒター指揮ローサンヌ室内管弦楽団 / ミュンヘン・バッハ合唱団

(1973. 6 ローサンヌ国際音楽祭でのLive) 【米倉ライブラリーから】

*** 休憩 ***

合奏協奏曲第6番ト短調 ～全曲

ラファエル・クーベリック指揮シカゴ交響楽団

(1983. 11. 3 シカゴ・オーケストラホールでのLive)

歌劇 “ジュリアス・シーザー” ～辛い運命に涙はあふれ

歌劇 “アタランタ” ～親しい森よ

アーリーン・オージェ (ソプラノ)

ジェラード・シュワルツ指揮モーストリー・モーツァルト管弦楽団

(デロス盤)

組曲 “水上の音楽”

第1組曲～序曲 / アンダンテとアレクロ 第3組曲～メヌエット / カントリー・ダンス

アウグスト・ヴェンツィンガー指揮バーゼル・スコラ・カントルーム合奏団 (1965アルヒーフ盤)

第2組曲

ヘッス・ロペス・コボス指揮ローサンヌ室内管弦楽団

(1993.11.12 ジュネーヴ、ヴィクトリアホールでのLive) 【米倉ライブラリーから】